

2008年公民科倫理 後期中間考査(3年1,2,3,4,5組&理系) 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
1 51.6%	1	4	57	2	5 43.8%	26	3	48	2
	2	2	35	2		27	4	85	2
	3	4	53	2		28	1	19	2
	4	3	80	2		29	3	27	2
	5	1	20	2		30	1	50	2
	6	4	48	2		31	3	36	2
	7	1	68	2		32	2	61	2
2 50.1%	8	1	44	2	6 32.3%	33	4	24	2
	9	2	41	2		34	2	18	2
	10	3	84	2		35	3	34	2
	11	3	38	2		36	3	58	2
	12	3	40	2		37	1	28	2
	13	4	71	2		38	6	27	2
	14	3	57	2		39	4	19	2
3 64.2%	15	2	26	2	7 45.2%	40	2	35	2
	16	3	70	2		41	3	39	2
	17	1	68	2		42	4	53	2
	18	2	68	2		43	1	73	2
4 54.4%	19	3	85	2	44	1	19	2	
	20	2	30	2	45	3	28	2	
	21	3	45	2	46	2	36	2	
	22	4	59	2	47	2	63	2	
	23	3	43	2	48	2	56	2	
	24	1	73	2	49	3	58	2	
	25	4	52	2	50	2	21	2	

2008年後期中間 倫理 得点分布

2008年前期期末 倫理 得点分布

	点数	頻度	累積
平均			
47.9点	95~100	1	1
	90~94	1	2
最高点	85~89	0	2
96点	80~84	3	5
	75~79	4	9
標準偏差	70~74	13	22
14.94	65~69	5	27
	60~64	14	41
	55~59	21	62
	50~54	26	88
	45~49	14	102
	40~44	31	133
	35~39	20	153
	30~34	35	188
	0~29	11	199

	点数	頻度	累積
平均			
59.1点	95~100	1	1
	90~94	7	8
最高点	85~89	4	12
96点	80~84	10	22
	75~79	12	34
標準偏差	70~74	13	47
15.08	65~69	18	65
	60~64	33	98
	55~59	22	120
	50~54	27	147
	45~49	13	160
	40~44	27	187
	35~39	7	194
	30~34	5	199
	0~29	4	203

2008 年片岡担当倫理 後期中間考査 解 説

平均点が低めとなったのは、一つにはセンター試験も近づいてきましたので、作問にも気合いが入ってしまい問題が難しくなってしまったこと。また、皆さんの方も倫理の試験どころではないという感じで、学習が不足していた面もあったように思います。今回の問題の特徴は、リード文に百科事典の項目を多用したことです。それぞれの学習内容についてきちんと詳しく説明されていますので、もう一度じっくりとリード文を読んで理解を深めてもらいたいと思います。

第 1 問

[1] 正解 4 57%

から まですべて儒教関連の用語です。この中で文脈にふさわしいものを選ぶわけですが、「優れた人格の形成」とそれを基盤とする「徳治」の構想をあらわすのが、それぞれ「修己」と「知人」になります。格物致知は『大学』の中の言葉、温故知新と修己知人は『論語』の中の言葉、の居敬窮理は『朱子語類』などにみられます。

[2] 正解 2 35%

道家の説く道と儒家の説く道では大きな違いがあります。教科書 p.49 にも「朝（あした）に道を聞かば、夕に死すとも可なり」という『論語』の言葉で儒家の道を「人間の真実の生き方」と説明されています。儒家的な道が、

人倫の道理にあてはまります。同じく教科書 p.54 には道家の道の説明として「天地に先立ち、万物がそこから生まれ、そこに帰るすべての存在の根拠」と書かれています。これにあてはまるのが、万物の根源だったのですが、おそらく、万物の根源という言葉で古代ギリシアの自然哲学を思い出してしまった人には悩ましい問題だったのではないのでしょうか。

[3] 正解 4 53%

この問題は世界史選択の皆さんにとっては易しい問題だったでしょう。韓非が法家で、鄒衍が陰陽家であることがわかっていれば公孫竜が名家であることがわからなくても解ける選択肢になっています。『公孫竜子』には「白馬は馬ではない（白馬非馬）」という主張がありますが、これはかならずしも詭弁というわけでもなく、「馬」という概念にはその色彩を限定する定義はないということ。つまり、「白馬」という色彩を限定した概念とは異なる複合概念なのだということをあらわすとも考えられます。いずれにしても名（名称）と実（実体）についての考察を行ったのが名家だということは覚えておきましょう。

[4] 正解 3 80%

これはよくできていました。墨家は儒家の仁愛を身内ば

かりを愛する「別愛」（＝差別的な愛）として否定します。戦争をなくすためには、兼愛（＝無差別平等な愛）をもち、身内だけの自利ではなく、天下全体の福利を増進すること＝交利が必要であるというのが墨家の思想です。

[5] 正解 1 20%

は「道あるがゆゑに道てふ言なく、道てふ言なければ、道ありし也けり」が、本居宣長のことばであることを押さえておきましょう。賀茂真淵もそうなのですが、国学の中には道家思想に類似している部分は少なくありません。宣長は中国思想はうるさいほど「道」を語るが、「道」という言葉のなかった日本では「道」は実現していたからそれをあえて「言挙げ（議論）」する必要がなかったのだと言いました。は『老子』は『荘子』の中の文です。を選んだ人が 37% もいましたが、「大道廢れて仁義あり」とは道家による儒家批判です。「仁義」「慧智」「孝子」「忠臣」という用語に引っかかってしまっただけです。

[6] 正解 4 48%

君子は『論語』に頻出します。大丈夫は『孟子』にある、「天下を広い住居として、天下の真中に立って、天下の大道を歩む」人物を指します。聖人は『論語』や『老子』にも出てくる広い概念です。朱子学以降は堯・舜・禹・湯王・文王・武王・周公・孔子あたりを聖人と考えるようになりました。『荘子』では真人とはどのような存在であるについて書き連ねられています。「道」の体得者が真人なのです。

[7] 正解 1 68%

の「理・気」が「陰・陽」だったら正しい記述ですが、「理・気」は朱子の用語なのでこれが適当でないものになります。鄒衍の陰陽五行説の特徴は、王朝の交代を五行の相克から説明したところにあります。火の徳を持った周王朝は、水の徳を持った秦王朝に取って代わられるという説明原理です。

第 2 問

[8] 正解 1 44%

孟子の政治の理想が王道でした。「徳を以て仁を行う者は王たらん」ということで、徳治政治に他ならないのですが、その前提となるのが「恒産無ければ恒心無し」。国の経済状況、民の生活状況を重視している点に特徴があります。礼治は荀子の理想。「礼は政治の極致であり、国を強固にする根本であり、権威が行われる方途であり、功名のおおもとである」（『荀子』議兵篇）と主張します。

霸道、つまり武力による制覇を孟子は「木に登って魚を取ろうとするもの」と批判しました。

[9] 正解 2 41%

前の問題の解説でも紹介したとおり、荀子といえば「礼治主義」です。荀子以降の荀子学派から生まれたのが韓非子や李斯などの法家です。法家が重視したのが法です。試験問題 p.2 のリード文も参照しておいてください。

[10] 正解 3 84%

陽明学といえば「心即理」。ひょっとしてそれさえ知らなくても、問題文の「心学」「唯心主義」から類推できたかもしれません。の去人欲というのも天理を求め人欲を否定した朱子学的な言葉です。性即理は完全に朱子学の言葉ですが、「格物致知」は,[1]でも説明したとおり『大学』の中の言葉ですが、これを事物に触れ(読書も含む)理を窮めていくことだと解釈したのが朱子で、同じ言葉を「致良知」と解釈したのが王陽明です。

[11] 正解 3 38%

朱子学の基本的な考え方を問います。は心と理が一体であるという点が間違っています。心即理は陽明学。は二宮尊徳の思想。の心を純粹専一の状態に保つことを「居敬」といい、読書問学を通して事物について理を極めることを「窮理」といいます。居敬窮理は朱子学の基本です。は孟子の性善説。

[12] 正解 3 40%

は「人皆人に忍びざるの心あり」は「羞悪の心なきは人にあらざるなり」は『論語』の言葉「子曰く、性相近(せいあいちか)きなり。習相遠(ならいあいとお)きなり」の現代語訳です。人の生まれつきは似たようなものであるが、習慣によってかけ隔たってくるということでこの言葉も知っておきましょう。「孟子曰く、人の学ばずして能くする所の者は良能なり、慮(おもんぱか)らずして知る所の者は良知なり」(『孟子』第十三巻)の現代語訳です。この良知良能を天下に推し及ぼすと仁義となるというのが孟子の性善説です。

[13] 正解 4 71%

これは単純な知識を問う問題です。五経といえば『詩経』、『書経』、『易経』、『礼記』、『春秋』で、朱子が重視した四書は『論語』『孟子』に加えて、『礼記』の『大学』篇と『中庸』篇が独立します。リード文では五経がそろったのが荀子の頃と書かれていますが、実際は荀子が示しているのは、『礼』『楽』『詩』『書』『春秋』の五つでこれに後に『易経』が加わって「六経」と言われるようになりました。それから『楽経』が外れるのが前漢の時代。五経博士がおかれた武帝のころに現在の五経が定まりました。

[14] 正解 3 57%

「義を見て為ざるは勇無きなり」は有名な言葉ではありますが、意外に文脈は知られていません。論語ではこの前は「其の鬼にあらざして之を祭るは諂ふなり」で、祭るべき祖先ではない神霊を祭るのはへつらいであり、逆になすべきつとめを行わないのは勇気がないのだと言うことです。「古の学者は己の為にし、今の学者は人の為にす」も論語の言葉ですがちょっとわかりにくいかな? 学問の目的が人のためにではなく、己のためにすべきだという発想は利己的に聞こえるかもしれません。ここでいう人のためとは「人の評判のため」という意味で、己のためとは「自分を磨くため」という解釈になります。これが正解ですが、文脈はこうです。孔子が曾子に対してこういま

す。「参や、わが道は一以て之を貫く」曾子は「唯(い:はい)」と答え、周りの門人たちは曾子にたずねます。「何の謂いぞや(なんのことですか)」それに対する答えが「夫子の道は忠恕のみ」でした。も同じく論語中の曾子の言葉ですが、君子は自分の職分以外のことは考えないという意味です。

[15] 正解 2 26%

『四書集注』は朱子による四書それぞれについての注釈。『伝習録』が王陽明の語録、書簡集。『近思録』は朱子が編纂した北宋の道学者選集。朱子が宋学の大成者といわれる所以の書です。『語孟字義』は伊藤仁斎の著作です。

第3問

[16] 正解 3 70%

記紀神話の中の天の神の国が 高天原ですね。葦原中国は地上の国。高千穂は天照大神の孫、ホノニギノミコトが天降ったとされる峰です。これが天孫降臨神話です。

古事記では黄泉比良坂(よもつひらさか)は葦原中国と黄泉国をつなぐ通路として描かれていますが、イザナミに追われたイザナギによって岩でふさがれてしまいます。

[17] 正解 1 68%

現在の神道で穢れを取り除くというと、禊(ミソギ)も祓(ハライ)も似たようなものなのでしょうが、古事記の時代では禊は水によって罪穢れを洗い流すこと。祓は供物などを捧げることによって罪穢れを贖うことです。祝詞(のりと)は神に捧げる言葉。御霊会(ごりょうえ)は怨霊の祟りを鎮めるための儀礼のことです。京都の祇園祭ももともとは牛頭天王の祟りとしての疫病を鎮めるために始まりました。

[18] 正解 2 68%

[16] の解説でも触れたように、かつては簡単に行き来できた葦原中国と黄泉国は黄泉比良坂におかれた大きな岩によってふさがれたことが古事記で示されています。したがって は不適當。イザナギが死後の世界である黄泉国から帰ってすぐに穢れを清めるわけです。したがって、が正解。の大国主が死者の魂を審判する世界が、あの平田篤胤の考えた幽冥界です。は西方極楽浄土のことで、古事記には掲載されていません。

[19] 正解 3 85%

「それなら、あなたの心の清明きはどうしたらわかるでしょう」という天照大神の言葉は原文ではこうです「然者汝心之清明何知」ここに清明心のルーツがあります。ということで正解は 。

[20] 正解 2 30%

を選んだ人が 34% いました。ツミとケガレが厳密に分けられていなかったのが古代日本の特徴です。たとえば、平安中期に成立した『延喜式』の「大祓詞」の祝詞にも、天津罪(あまつつみ)として農耕妨害や脱糞などによって祭祀の場を汚す行為や、国津罪(くにつつみ)として身体

損壊,皮膚疾患,近親相姦や獣姦,農業災害や呪詛を連ねています。ということで正解は 。 はキリスト教的ですし, は中国思想的な考えとなります。

第4問

[21] 正解 3 45%

空海の著作を問う問題です。空海といえば『三教指帰』や『(秘密曼荼羅)十住心論』が代表的著作ですね。『山家学生式』は最長の著作。の『三帖和讃』は親鸞の『浄土和讃』『浄土高僧和讃』『正像末法和讃』の総称です。いずれも動行において読誦されるものです。『一枚起請文』は法然が著しました。

[22] 正解 4 59%

空也上人が何と呼ばれていたかという問題です。遊行聖あるいは遊行上人とは別名遊行宗ともいわれる時宗を開いた一遍を指すことが多いですね。捨聖もやはり一遍。教科書 p.75 にも「自己の衣食住にかかわるすべてを捨て去ろうとつとめ」捨聖と呼ばれたことが紹介されています。

の高野聖は泉鏡花の小説のタイトルにもなっていますが,高野山信仰を広めた僧たちのことで個人を指すことはありません。の市聖(いちのひじり)が正解。空也は阿弥陀聖あるいは市聖と呼ばれました。

[23] 正解 3 43%

十七条憲法には大乘仏教以外にも,「和を以て貴しとなす」にみられるように,論語からの影響もあります。

『三経義疏』の三経とは,法華,維摩,勝鬘の三経なので,浄土系の観無量寿経がちがいます。実際,現存する天寿国繡帳はボロボロになっていますので,「世間虚仮~」の言葉は残っていませんが,そこに書かれた銘は『上宮聖徳法王帝説』に記載されて残っているのです。国分寺造営と大仏造営発願の詔は奈良時代の聖武天皇の詔ですから150年くらい時代が違いますね。

[24] 正解 1 73%

一乗思想とは法華経の方便品に示されている考え方で,声聞・縁覚・菩薩という三乗の異なる教えがあるというのは方便で,じつはそれらはすべて仏となりうる一乗なのだということです。釈尊の本地は永遠の昔から仏法を説き続ける久遠実成の本仏で,人間のみならず草木も含めた一切衆生には悉く仏性があるというのが法華経にもとづく天台教学の考えです。ということで正解は 。南無大師遍照金剛とは弘法大師空海に帰依しますという真言宗の祈りの言葉。色即是空は『般若心経』の中の空の思想。帰命無量寿如来とは親鸞の著作『教行信証』の中に説かれる,「正信偈」の一部で,浄土真宗において読誦すべきとされているものです。無量寿如来=阿弥陀如来を知っていれば難しくありません。

[25] 正解 4 52%

念仏には仏の姿を心に思い浮かべる(観察する)観想念仏と,仏の名を称える称名念仏の2種類があります。源信の『往生要集』では,観想念仏が重視されているため,平

安貴族の間で,来迎図や阿弥陀如来像が信仰の対象になったわけです。

第5問

[26] 正解 3 48%

専修念仏, 他力本願は法然の思想ですが,すべてを阿弥陀如来にゆだねて,救われる恩に感謝をする 絶対他力が親鸞の思想です。念仏停止(ちょうじ)は奈良の興福寺の奏状により法然や親鸞が流罪になった法難ですね。

[27] 正解 4 85%

道元の言葉として有名なのが 只管打坐ですが, 見性成仏と 教外別伝は不立文字,直指人心とともに菩提達磨の四聖句といわれます。

[28] 正解 1 19%

『観無量寿経疏』を書いたのが唐の僧,浄土教の大成者である善導です。源信も法然も彼の影響を受けています。入宋した道元の師匠が中国曹洞宗の天童如浄。道元の弟子で『正法眼蔵随聞記』を書いたのが永平寺をついだ懐奘です。唯円は『歎異抄』を書いた親鸞の弟子です。

[29] 正解 3 27%

間違いがちなのが,親鸞の思想をしるした『歎異抄』は唯円の著作で,親鸞が著したのは『教行信証』です。また,『普勧坐禅儀』は道元の著作ですが,『興禅護国論』は荣西の著作。日蓮の主著が『立正安国論』で『即身成仏義』は空海の著作です。

[30] 正解 1 50%

「唯一向に念仏すべし」は『一枚起請文』中の法然の言葉。「善人なほもて往生をとぐ」は唯円の『歎異抄』に描かれる親鸞の言葉。「五大にみな響きあり十界に言語を具す」は空海の『声字実相義』の中の言葉。五大とは「地水火風空」,十界とは地獄から仏に至る十の階層をあらわします。「自力作善の人~」も『歎異抄』の言葉です。

[31] 正解 3 36%

「貪欲なからんと思はば,先ず須く吾我を離るべきなり」は禅宗っぽいと思いませんか? これは『正法眼蔵随聞記』に書かれる道元の思想です。「法華経流布の国に生まれて~」はどう見ても日蓮の思想。『守護国家論』の中の日蓮の言葉です。「しからしむといふは,行者のはじめてともかくもはからざるに,過去・今生・未来の一切の罪を転ず」は『唯信鈔文意』のなかの親鸞の言葉。阿弥陀如来のはからいをあらわすものです。「悪を懲らし善を勧むるは,古の良典なり」は十七条憲法中の言葉です。聖徳太子かな?

[32] 正解 2 61%

「事を論ずるには,当に己れの地,己れの身より身を起こすべし」これは吉田松陰の言葉。「仏道をならふといふは,自己をならふなり。自己をならふといふは自己をわするなり」これが道元の『正法眼蔵』の言葉。「正定の業とはすなはちこれ仏名を称するなり。み名を称すれ

ば、かならず生ずることを得」仏名を称えると言えば浄土系であることが分かると思います。これは、『教行信証』の中の親鸞の言葉です。「善につけ、悪につけ法華経をすつのは地獄の業なるべし」は明らかに日蓮。『開目抄』のことばです。

[33] 正解 4 24%

日蓮の生涯について間違っただけを探します。では日蓮は道元の曹洞宗のせいで天変地異が起きるのだと説明していますが、特に日蓮が『立正安国論』のなかで批判したのは法然の浄土宗です。迫害を受けた日蓮は、法華経に書かれた末法に出現する上行菩薩の再誕としての「法華経の行者」としての自覚を持っていましたが、密教の孔雀明王の化身としての自覚はもっていませんでした。四箇格言が全部違っています。「念仏無間 禅天魔 真言亡国 律国賊」が正しいものです。ということで正解は です。

第6問

[34] 正解 2 18%

難問になってしまったようです。『孟子』を乗せた船は中国を出てから日本に着く前に沈没してしまうという言い伝えがかつてありました。これは、『孟子』中の易姓革命の考え方が日本では受け入れられないということ象徴するエピソードだったようです。万世一系で天命が改まって王朝が交代するという点は律令国家としては受け入れがたいことでした。ということで正解は 易姓革命です。

[35] 正解 3 34%

心学が陽明学だと言うことが分かっているならば、朱子学との比較の中からどれが正解かを見出すことが出来ます。朱子学 vs 陽明学はそれぞれ、理論 vs 実践、客観 vs 主観と対比することが出来ます。ということで、ここでは の実践が適当な語です。

[36] 正解 3 58%

は『論語』の中の徳治政治をあらわす言葉。は資料集 p.138にも載っていますが、藤原惺窩の言葉。が上下定分の理をあらわす林羅山の『春鑑抄』の言葉。は柔弱こそ道に近いとする『老子』の言葉です。

[37] 正解 1 28%

これも意外に難問になってしまいました。は山崎闇斎「敬内義外」の説明になります。ですからこれが正解。は本地垂迹説の説明です。は本居宣長の惟神の道。は致良知の王陽明の思想の説明です。

[38] 正解 6 27%

この手の選択肢は知らないものがあったとしても、知っておくべき知識があれば解けるようになっています。ここで知っておくべき知識は、貝原益軒の『養生訓』と中江藤樹の『翁問答』です。これをさえ知っていれば、が選べる選択肢になっていました。『春鑑抄』は林羅山ですが、山片蟠桃の『夢の代』はちょっと難問。『翁の文』は富永仲基の著作です。熊沢蕃山の著作が『集義和書』であることを知らなくても、『翁問答』が中江藤樹の著作であることは必ず覚

えておいてください。

[39] 正解 4 19%

これも難問でしたか。授業中も伊藤仁斎の朱子学批判についてはふれたつもりでしたが…。世界を理によって固定化されたものと見る朱子学に対して世界は一大活物であると批判するとともに、朱子学の厳格主義を「残忍酷薄」と評した が伊藤仁斎の思想です。

[40] 正解 2 35%

この問題は荻生徂徠の唱える道が、「先王の道」すなわち、堯舜や周公の整えた「礼楽刑政の道」であるということがわかっているならば、 のように聖人の道が君臣、父子、夫婦、兄弟、朋友の間にあるという主張が徂徠の主張ではないことが分かります。ちなみにこの選択肢で注目すべきは「仁義忠信」ですね。これは「忠信」すなわち「誠」を重視した伊藤仁斎の思想です。

[41] 正解 3 39%

Aのキーワードは「条理」と「反観合一」です。条理学といえば三浦梅園の思想。Bのポイントは「皆意に随ひて改易し、口相伝授す」富永仲基の加上の法則の説明です。Cは「直耕安食安衣」がヒント、万人直耕の安藤昌益です。

第7問

[42] 正解 4 53%

『万葉代匠記』の著者は 契沖ですね。 の佐藤信淵は平田篤胤の弟子。江戸末期の経世家です。

[43] 正解 1 73%

これもサービス問題。賀茂真淵は万葉集の歌調を「ますらをぶり」と呼んで高く評価しました。

[44] 正解 1 19%

これも難問となりましたか。 の説明では復古神道というキーワードを使いませんでしたが、これが平田篤胤の思想です。は『創学校啓』から荷田春満を、は『国意考』から賀茂真淵を、は『古事記伝』から本居宣長を思い出して欲しいところです。

[45] 正解 3 28%

幕末の洋学者の精神は基本的に「和魂洋才」なのですが、とくに横井小楠と佐久間象山は朱子学者として洋学に対峙しました。朱子学の重視する『大学』格物致知（学問）に始まり治国平天下（政治）に至ります。

[46] 正解 2 36%

異国船打ち払い令を『戌戌夢物語』で批判したのは高野長英。「一君万民」「草奔崛起」が吉田松陰のキーワード。「東洋道德西洋芸術」といえば佐久間象山。洗心洞で陽明学を教えた大阪町奉行与力といえば、大塩平八郎です。

[47] 正解 2 63%

明六社の提唱者は初代文部大臣の森有礼です。薩摩藩出身で、イギリスとアメリカに長く留学していました。彼は明治憲法発布の日に暗殺されてしまいますが、欧化政策のシンボルとして、伊勢神宮参拝の時に内宮の御簾をステッ

キで開けたという噂が流されたといひます。それは事実ではなかつたようですが、黒住教の信徒にとってそのような不敬は許せなかつたということなのでしょう。

[48] 正解 2 56%

の社会進化論が加藤弘之の思想です。彼は初めのうちは天賦人權論を主張しますが、後に社会進化論にもとづく国権論に転じて過去の自分の著作を絶版にしてみます。初代帝国大学総長ですが、官製学者といわれてもしかたありません。

[49] 正解 3 58%

Philosophy を「希哲学」と訳した人物といへば西周です。彼は日本語をローマ字化すべきという論文を明六雑誌に投稿します。そのメリットは難しい漢字を庶民が覚えなくていいという点にあるわけですが…。しかし、現在では多くの方がワープロをローマ字で打っていますので、少しは西周も納得しているのでしょうか？

[50] 正解 2 21%

「妻妾論」を明六雑誌に発表したのは森有礼です。彼自身洋装で福沢諭吉を証人にして契約結婚をしたのですが、ロンドンから帰国後離婚してしまいます。妻のイギリス人との不倫説もあったようですが、どうやら妻の父親が自由民権運動資金を得るために強盗を働いたせいなのでしょう。